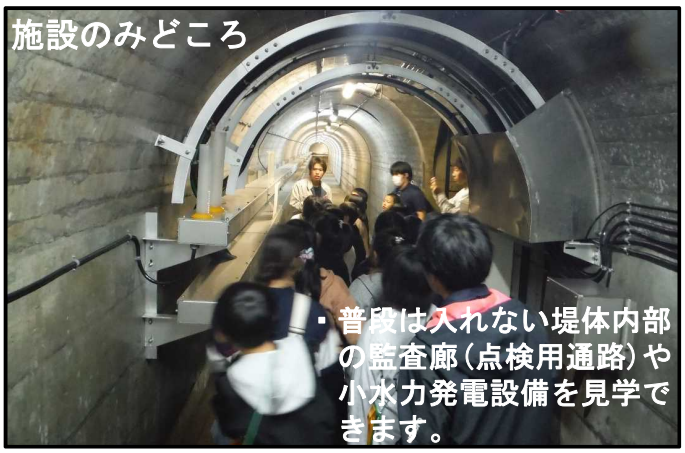
○鹿ノ子ダム（置戸町）



（施設概要）
- 鹿ノ子ダムは、常呂川の最上流部にある高さ55.5m、長さ222mの重力式コンクリートダムで、昭和58年に完成し令和6年には管理開始40周年を迎えました。
- 鹿ノ子ダムの役割は、下流の洪水被害の軽減のほか、水道用水、農業用水の供給です。
- 小水力発電設備があり、ダムの管理に必要な電気をまかなっています。

（見学箇所）
- 右岸広場（概要説明）、堤頂からの眺望、ダム堤体内部、小水力発電機室、ダム下

（見学時間）
- 60分程度

（見学可能人数）
- 最大1日あたり30人×1回

（施設までのアクセス）
- 北見駅から車で約1時間

○鹿ノ子ダム（置戸町）

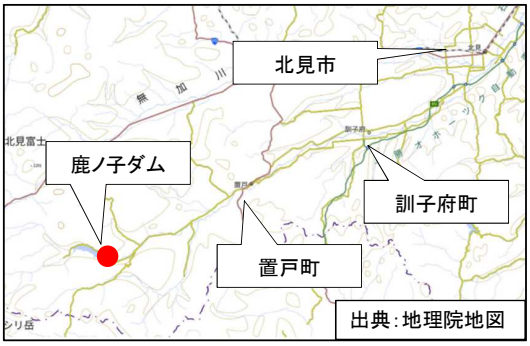
【駐車場・その他施設】

- 駐車場：あり
- トイレ：あり（ダム管理支所内）
- エレベーター：あり（6人乗り）
- 堤体内部の見学はエレベーターを使用しますが、30段の階段の上りがあります。
- 堤頂は道道（両側に歩道あり）
- 通信環境：ソフトバンク可（堤体内部は不可）

【オススメポイント（周辺の観光スポットなど）】

- 置戸の「森林工芸館」では、地域ブランドである木工品オケクラフトのお椀や皿などの製品を展示販売しており、製作の様子も見ることができます。
- 近くの勝山温泉ゆうゆでは源泉掛け流しの温泉が楽しめます。
- 冬（1～2月）は湖の氷上でワカサギ釣りが楽しめます。
- 北見市留辺蘂町温根湯には、淡水魚水族館として有名な「北の大地の水族館（山の水族館）」があり、巨大なイトウや珍しい淡水魚を見ることができます。

【注意事項】

- 堤体内部の見学では、長い階段や段差がありますので、そのような場所を歩行可能な方のみ参加可能です。
- 堤体内部の監査廊の気温は夏場でも10℃前後のため、必要な方は上着をご用意下さい。
- 堤体内部は漏水や結露にて足下が濡れています。

【位置図】